

一般国道284号 真滝バイパス が開通！

～ 東日本大震災津波の被害を乗り越えて ～

県南広域振興局土木部一関土木センター
道路建設課

平成24年8月7日（火）14時、一関市滝沢の一般国道284号真滝バイパスが全線開通しました。

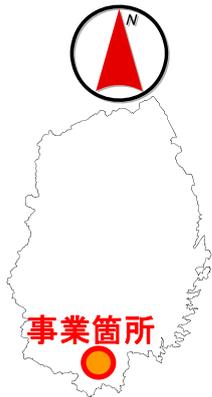
一般国道284号は内陸と沿岸を結ぶ岩手県の横断軸の一つであり、物流、観光などをはじめ重要な路線となっています。

しかし、当該箇所は幅員が狭く、急勾配で下った先に直角カーブがある等、特に冬期間に事故が多発していました。

これらの問題を解消するため、県では平成17年度に真滝バイパスを事業化し、工事を順調に進めてきましたが、完成間近の平成23年3月11日、東日本大震災により大きな被害を受けました。

県では、被災地の早期の復旧・復興を図るため、東日本大震災津波復興計画において、一般国道284号を復興支援道路に位置付け、真滝バイパスの早期復旧・整備に全力を挙げて取り組み、今回、被災した箇所の復旧工事が完了し、開通に至ったものです。

差し替えた地図は、別ページを御覧ください



【3. 11地震での被災】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、一関市にも大きな被害をもたらし、一般国道284号真滝バイパスも大きなダメージを受けました。路面は波打ち、法面は崩れ、歩道は裂け、完成間近であった真滝バイパスのあまりの被害の大きさに、担当職員は頭を悩ませました。



地震により裂けた歩道



被災状況を確認する担当職員

【復旧、そして開通】

被災した直後から調査を開始、次に大きな地震が来た場合も被害を最小に抑えられるように、被災前の道路よりも地震に強い設計を採用しました。

地震により受けたダメージの大きさや資機材不足、冬期間の悪天候等により工事は難航しましたが、工事関係者等の尽力により平成24年8月、本線部分の工事は概成しました。

平成24年8月7日（火）の開通にあたっては、地域住民や施工業者ら約130人が参加、県南広域振興局土木部一関土木センターの高橋所長が開通を宣言し、地域の子供たちが風船を飛ばし、開通を祝いました。県からは大々的に開通を呼びかけてはいなかったのですが、集まった地域の人たちの多さに、地域住民の真滝バイパスへの期待の大きさを感じました。



一関土木センター所長が開通宣言



子供たちも開通を祝いました！

【おわりに】

復興支援道路である一般国道284号真滝バイパスが今回開通し、これから本格化する沿岸被災地復旧・復興支援の一助となることを期待しています。

真滝バイパス L=1.8km



(令和6年作成) 当時の地図とは異なります